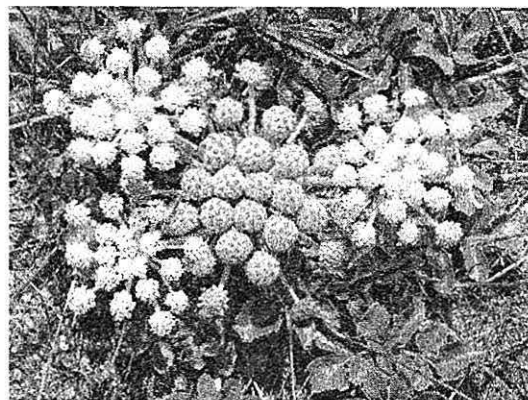


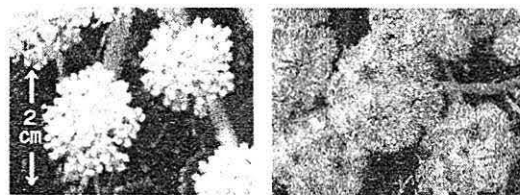
新展示紹介 ^ねなが〜い根っここのハマボウフウ

新展示室の海の砂浜のコーナーには、ハマボウフウのもけいがあります。もけいは、生きている植物から型をとって作られます。型のもととなるハマボウフウをほりに行った時のこととお話しましょう。



砂浜へ

去年の6月23日、岩瀬浜へ行くと、ハマボウフウにはうす緑色のメロンパンのような実と白い花のかたまりがついていました。直径2センチメートルほどの一つのまるい花は小さな花がたくさん集まってできており、蜜をめぐまてにアリが登ってきていました。



白い花の集まりは、うす緑色の実の集まりになる。

なが〜い根っこ

ハマボウフウはゴボウのように太く長い根っこをもっていますが、実は、これは“根”ではなく“茎”です。去年の茎より下側でヒゲのように出ているものが本当の根です。ここでは、砂の下の茎全体を“根っこ”とよぶことにします。

根っこのまわりの砂を、用意したクワやスコップでほりました。砂は水をとおしやすいので、深くまでかいていると予想していましたが、15センチメートルほどの深さでしめり気をおびていました。根は、わりと浅いところから水を吸収できそうでした。この後、根っこをきずつけないように注意しながら20分ほどほると、ようやく数本にわかれた先たんが出てきました。根っこの長さは45センチメートルほどありました。



根っこを15cmほどほったところ。
横線は根っこにふくらみのある位置。

ね 根っこのやくわり

ね すな なか みず ようぶん は つく えいようぶん
根っこは、砂の中の水と養分をたくわえるほかに、葉で作られた栄養分もたくわえています。

なが
そして、とても長いには、わけがあります。

すなはま かげ すな うご しょくぶつ すな
砂浜では、つよい風によって砂が動かされるので、植物はしばしば砂にうもれてしまいます。

よくしゅん すな うえ め で ね うえ すな ふか
うもれたハマボウフウは、翌春、砂の上に芽が出るまで根っこを上へのぼします。砂に深くう

もれたときには、長くのびます。写真の根っこのまわりのふくらみ (横線の部分) から次のふくら

みまでが、1年にのびた長さとかんがえられ、1年にかぶった砂の深さでもあるでしょう。

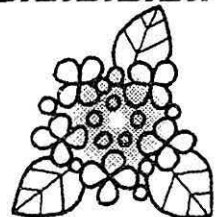
すなはま しょくぶつ くふう み あたら てんじしつ
砂浜の植物がもつ工夫を見に、新しくなる展示室へきてくださいね。

さかい なおこ
(坂井 奈緒子)



とやましかがくぶんかせんたー

富山市科学文化センター



6月のごあんない

〒939-8084富山市西中野町1-8-31(城南公園内)

でんわ：076-491-2123ファックス：076-421-5950

ホームページ：<http://www.tsm.toyama.toyama.jp/>

お知らせ

きゅうかんちゅう

とやましかがくはくぶつかん

リニューアルのため休館中です。7月13日(金)、富山市科学博物館となつて、オープン！



きょうしつのおさんかしゃほしゅう



教室の参加者募集

サテライト科学教室 CiC3階

- | | | |
|--------------------------|---------------------------|-------|
| ☆ 富山のみぢかな生きものとセンターの新展示紹介 | 6/2(土)13:30-15:00 (申込不要) | どなたでも |
| ☆ 立山連峰の形成と世界で最も新しい花こう岩 | 6/9(土)13:30~16:30 (申込不要) | どなたでも |
| ☆ 富山の恐竜化石 | 6/16(土)13:30~16:30 (申込不要) | どなたでも |

富山自然散歩 初夏の美女平を歩く 6/3(日)9:30~15:00 (5/27しめぎり)
場所：立山町美女平 (美女平駅集合解散) 小1~一般(小学生は保護者同伴)

富山自然散歩 牛岳のブナ林を歩く 6/24(日)10:00~14:30 (6/17しめぎり)
場所：牛岳登山道、赤とんぼ広場から (現地集合解散) 小4以上(小学生は保護者同伴)

お申し込みは、往復ハガキ、FAX、ホームページのいずれかで、1.行事名 2.住所 3.参加者全員の氏名
4.学年又は年齢 5.電話番号 6.返信先を記入し、科学文化センターまで。 2007.5.20版